

2007年10月9日

駐日米国大使	J・トーマス・シーファー	} 様
在日米軍司令官	ブルース・A・ライト中将	
在日米海軍司令官	ジェームズ・D・ケリー少将	
厚木航空施設司令官	ジャスティン・D・クーパー大佐	
外務大臣	高村正彦	
防衛大臣	石破茂	

町田市長 石坂丈一

厚木基地における夜間連続離着陸訓練(NLP)の中止等について(要請)

10月5日、防衛省から、空母キティホーク艦載機の着陸訓練について通告がありました。この通告によれば、硫黄島における天候等の事情により所要の訓練が実施できない場合には、厚木基地において、夜間の訓練を行う可能性があるとのことでした。

今年5月には、約7年ぶりにジェット機によるNLPが厚木基地で実施され、深刻な騒音被害が発生したところであり、理由の如何を問わず、このような状況が再びもたらされることは到底容認できるものではありません。

貴職におかれましては、日ごろから騒音被害に苦しむ基地周辺住民に配慮され、天候等の事情があっても、すべての訓練を硫黄島で実施するよう、また仮に、硫黄島で所要の訓練が実施できない場合においても、周辺に人口が密集している厚木基地においては訓練を実施しないよう、(米側に申し入れるとともに、このことについて日米双方で再度調整するよう)強く求めます。

※( )内は日本側の要請に挿入する。